

2013年12月20日

2013年11月 ECALGA セミナー Q&A

Q 1 : ECALS 海外メーカーへの拡大要望があったが、これは JEITA としてどう考えるのか？  
海外メーカーへ参加を求めて JEITA へ参画してもらうのか？

A 1 : 海外メーカーの ECALS コンテンツ提供については、対象メーカー、コンテンツ収集方法を EC センターの ECALS 実用化専門委員会にて検討中です。

Q 2 : 技術情報交換の課題がよく分かった。これを受けて JEITA としては、どう取り組んでいくのか？

A 2 : EC センターは技術情報交換の普及のため、ECM 委員会が中心となって啓蒙活動を行っていきます。技術情報交換に特化したセミナーの他、ご要望があれば、活用企業支援のためのサポートも行います。

Q 3 : ECALS 導入希望企業に出向いて導入支援するという話があったが ECM 委員会のメンバーが行くのか？ EC センターとして導入支援別体制を準備する必要があるのでは。

A 3 : ECM 委員会・ECALS 実用化専門委員会及び傘下のワーキングのメンバーが中心となり、ECALS 導入支援をサポートさせていただきます。

Q 4 : 米国の紛争鉱物について JEITA/EC センターとして今後の取組みがあれば教示頂きたい。

A 4 : EC センターは、JEITA 責任ある鉱物調達検討会 (<http://home.jeita.or.jp/mineral/>) と連携して、IPC (米国電子回路協会) が推進する EICC テンプレートに即したデータ交換標準規格の策定に参画し、意見提示を行ってきました。(来春公開予定)  
今後は、本規格の採用も視野に、JEITA 会員企業からの要請もふまえ、紛争鉱物データ交換の EDI 標準化に取り組んでまいります。

Q 5 : ECALGA 海外モデルに見積り機能がないのはなぜでしょうか？

A 5 : 海外取引の標準制定については、その環境・商習慣の多種多様性を考慮し、これらに依存しない取引のコア(発注～納入)に対する正規化を策定方針としました。今後、JEITA 会員企業からの要請があれば、メッセージ追加の検討を進めていきます。

以上